

## 2019年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年1月9日

上場会社名 株式会社コジマ

上場取引所 東

コード番号 7513 URL <https://www.kojima.net/corporation/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木村 一義

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画本部長 (氏名) 荒川 忠士

TEL 03-6907-3113

四半期報告書提出予定日 2019年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年8月期第1四半期の業績(2018年9月1日～2018年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第1四半期	57,530	7.8	213	—	277	—	122	—
2018年8月期第1四半期	53,384	4.4	△332	—	△333	—	△413	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第1四半期	1.57	—
2018年8月期第1四半期	△5.31	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第1四半期	112,166	42,411	37.8
2018年8月期	101,479	42,314	41.7

(参考) 自己資本 2019年8月期第1四半期 42,411百万円 2018年8月期 42,314百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年8月期	—				
2019年8月期(予想)		—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年8月期の配当金は未定であります。

### 3. 2019年8月期の業績予想(2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	124,100	4.6	1,500	11.4	1,520	0.3	1,100	22.0	14.12
通期	260,000	5.5	4,800	13.0	5,000	11.7	3,700	8.3	47.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年8月期1Q	77,912,716 株	2018年8月期	77,912,716 株
② 期末自己株式数	2019年8月期1Q	919 株	2018年8月期	919 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年8月期1Q	77,911,797 株	2018年8月期1Q	77,911,797 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年8月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(会計上の見積りの変更) .....	6
(持分法損益等) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6
3. 補足情報 .....	7
生産、受注及び販売の実績 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2018年9月1日から2018年11月30日まで)におけるわが国経済は、緩やかに景気が回復しております。企業収益及び雇用情勢は改善が続いており、個人消費は持ち直しております。

当家電小売業界における売上は、エアコン等が好調に推移したことに加え、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、スマートフォンやパソコン等が堅調に推移し、デジタルカメラやゲーム等がやや低調であったものの、総じて堅調に推移しました。

このような状況の中、当社は、「お客様第一主義を実践し、最高のサービスをお客様に提供することで社会に貢献する」の企業理念のもと、「お客様の暮らしを『より快適に』『より便利に』『より楽しく』します。暮らし応援コジマ」をスローガンに掲げ、ビックカメラとの統合効果を最大限に発揮し、企業価値の向上に取り組んでおります。

ビックカメラグループの幅広い取扱い商品を強みに、売場の拡充や専門性の向上に取り組み、モノからコト軸への提案を進め、更に、お客様に体験価値や満足感を感じていただける展示・接客の充実に努めております。酒類の販売については、前期の「コジマ×ビックカメラ 新座店」に続き、2018年9月29日に「コジマ×ビックカメラ 江戸川店」、10月13日に「コジマ×ビックカメラ 梶ヶ谷店」の2店舗で取扱いを開始し、国内外のビールや日本酒、焼酎、ヴィンテージワイン等、地域最大級の品揃えで店舗の更なる魅力度向上に努めております。

また、快適・便利・楽しいをテーマにした参加型イベントの開催や、社員が直接お客様宅を訪問し困り事を解決する「コジマ暮らし応援」の対象エリア拡大や、デジタル商品を中心に買取・購入後のサポートを充実した「サービスサポートカウンター」の設置店舗拡大など、コジマ独自の試みにより、皆様に喜んでいただける店舗づくりに取り組んでおります。なかでも店頭イベント「ミニ四駆大会」は、全国各地の予選と準決勝に多くのお客様にご参加いただき、12月には全国大会決勝戦「コジマ グランドキングカップ」(コジマ主催)を「コジマ×ビックカメラ 静岡店」で開催し、好評を得ております。

さらに、「コジマ×ビックカメラカード」に加えて、11月から分割無金利に対応した「コジマクレジット&ポイントカード」を発行するなど、お買物がもっと便利になる仕組みづくりも進めております。

店舗展開におきましては、2018年11月21日に「コジマ×ビックカメラ マークイズ福岡もち店」(福岡県福岡市)を開店し、2018年11月末現在の店舗数は142店舗となりました。

また、ビックカメラ流の体験提案型の売場や豊富な商品を扱う「コジマ×ビックカメラ店」への転換を引き続き進め、既に改装を終えた店舗につきましても、ご来店いただいたお客様の声を店舗づくりに反映し、「生活者目線」と「鮮度」にこだわり、更なる進化を目指すことにより、新たな店舗網の構築に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は575億30百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は2億13百万円(前年同期営業損失3億32百万円)、経常利益は2億77百万円(前年同期経常損失3億33百万円)、四半期純利益は1億22百万円(前年同期四半期純損失4億13百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ106億86百万円増加(前事業年度末比10.5%増)し、1,121億66百万円となりました。主な要因は、売掛金の増加21億73百万円、商品の増加81億68百万円によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ105億89百万円増加(前事業年度末比17.9%増)し、697億54百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加50億83百万円、短期借入金の増加55億円によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ97百万円増加(前事業年度末比0.2%増)し、424億11百万円となりました。主な要因は、四半期純利益(純資産の増加)1億22百万円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月10日付決算短信発表時に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,760	2,455
売掛金	9,815	11,988
商品	39,816	47,985
貯蔵品	193	203
前払費用	1,150	1,143
未収入金	2,428	1,561
その他	454	764
貸倒引当金	△238	△218
流動資産合計	55,381	65,885
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,081	10,750
土地	8,865	8,821
その他（純額）	2,150	2,063
有形固定資産合計	21,097	21,635
無形固定資産		
その他	922	911
無形固定資産合計	922	911
投資その他の資産		
前払年金費用	2,164	2,173
長期前払費用	735	709
繰延税金資産	6,988	6,948
差入保証金	13,636	13,394
その他	609	571
貸倒引当金	△57	△61
投資その他の資産合計	24,078	23,734
固定資産合計	46,098	46,281
資産合計	101,479	112,166

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,817	18,901
短期借入金	10,000	15,500
1年内返済予定の長期借入金	1,898	1,873
リース債務	420	403
未払金	3,846	3,747
未払法人税等	716	169
前受金	2,995	2,483
賞与引当金	1,041	1,629
ポイント引当金	1,860	1,792
店舗閉鎖損失引当金	263	201
資産除去債務	331	231
その他	2,420	1,091
流動負債合計	39,612	48,024
固定負債		
長期借入金	10,486	13,058
リース債務	932	833
商品保証引当金	1,052	951
店舗閉鎖損失引当金	1,077	960
資産除去債務	4,320	4,340
その他	1,684	1,585
固定負債合計	19,553	21,729
負債合計	59,165	69,754
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,975	25,975
資本剰余金	15,913	15,913
利益剰余金	367	489
自己株式	△0	△0
株主資本合計	42,255	42,377
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58	34
評価・換算差額等合計	58	34
純資産合計	42,314	42,411
負債純資産合計	101,479	112,166

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)
売上高	53,384	57,530
売上原価	38,836	41,859
売上総利益	14,547	15,670
販売費及び一般管理費	14,880	15,456
営業利益又は営業損失(△)	△332	213
営業外収益		
受取利息	21	18
受取手数料	24	22
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	30
その他	17	40
営業外収益合計	63	111
営業外費用		
支払利息	53	36
支払手数料	7	6
その他	2	5
営業外費用合計	64	48
経常利益又は経常損失(△)	△333	277
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	6	68
リース解約損	10	1
店舗閉鎖損失引当金繰入額	51	—
特別損失合計	67	70
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△400	207
法人税、住民税及び事業税	6	34
法人税等調整額	6	50
法人税等合計	13	85
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△413	122

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社には、音響映像商品・家庭電化商品・情報通信機器商品等の物品販売業部門以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

品目別売上高

品目別		当第1四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	1,685	2.9	△8.8
	テレビ	4,177	7.3	3.5
	レコーダー・ビデオカメラ	1,432	2.5	△3.6
	オーディオ	949	1.6	0.3
	その他	1,352	2.4	24.1
	小計	9,596	16.7	2.0
家庭電化商品	冷蔵庫	4,608	8.0	1.9
	洗濯機	4,002	7.0	1.9
	調理家電	3,591	6.2	3.7
	季節家電	5,700	9.9	16.6
	理美容家電	2,905	5.1	8.2
	その他	5,173	9.0	9.3
	小計	25,980	45.2	7.2
情報通信機器商品	パソコン本体	3,814	6.6	10.4
	パソコン周辺機器	1,756	3.1	15.0
	パソコンソフト	174	0.3	6.6
	携帯電話	6,743	11.7	21.0
	その他	3,850	6.7	14.1
	小計	16,339	28.4	15.9
その他の商品	ゲーム	1,233	2.1	△13.0
	時計	128	0.2	23.6
	スポーツ用品	252	0.4	47.0
	玩具	641	1.1	8.9
	医薬品・日用雑貨	427	0.7	29.2
	工事(住設含む)	1,178	2.1	△12.5
	その他	1,247	2.2	4.7
	小計	5,108	8.8	△0.8
物品販売事業		57,025	99.1	7.8
その他の事業		504	0.9	△0.5
合計		57,530	100.0	7.8

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。